

環境委員会

発行 株式会社M.T.C

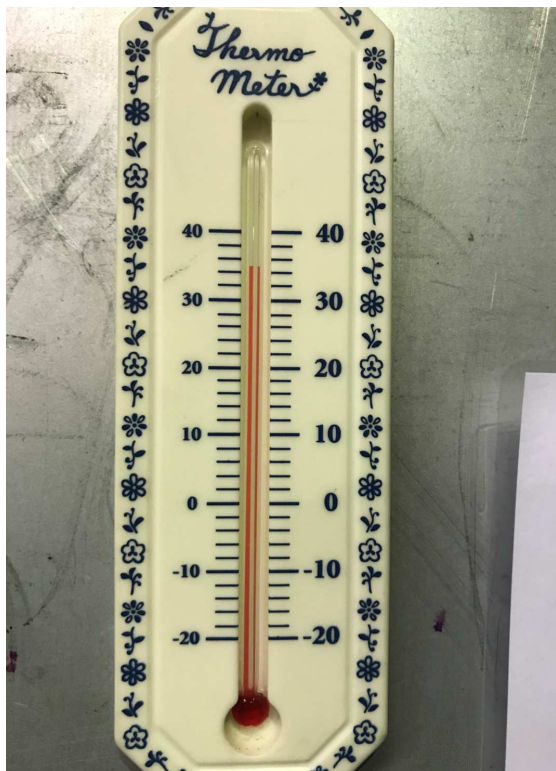
メンバー:中西、上村、西、
樋谷、吉見、福井、小林

夏全開!

電力使用量強化月間

毎日毎日三十五度超えが続いています。夏と言えば「海」「プール」「ビール」「かき氷」等涼しく感じられるものが多いと思いますが、忘れていけないのは「電気使用量増加」です。

この問題は、暑い、もしくは湿度が高いときに、クーラーや冷却設備の付けっぱなしや、気温が上昇することによる、冷蔵・冷凍庫の冷却維持のために増加するものです。皆さん、電気代節約の為に、スポットクーラー・扇風機は使わず耐えましょう!と言いたるところですが、今年は災害指定にされる程の酷暑です。そんな鬼のようなことは言えません。ですので、今回は少しでも体を涼しく感じられるアドバイスをしますので、参考にしてみてください。



体感温度は40°C超え!!

①首・脇・足の付け根を瞬間冷却
この3か所を冷やすようにしておけば、扇風機の風だけで、清涼感が抜群(らしい)です。足の付け根・わきの下は、冷却シートがずれやすいので、スポーツマンがアイシングに使う清涼バンテージがいいそうです。

②扇風機の羽を濡らす、または扇風機の前に凍らせたペットボトルを置く
扇風機の羽に霧吹きで水をかけると打ち水と同じ効果を得られます。極論、体に霧吹きで水を吹きかけても、同じ効果が得られます。また、凍らせたペットボトルは、冷気が直接、風で送られてくるため、涼しく感じます。

③冷却スプレーを有効活用
冷却スプレーは市販で今、手軽に購入できます。それと扇風機のコーポレーションは、ある意味「最強」かもしれません。

④外出の時、長そでを着る

(無理なら日焼け止めを塗る)
「一見「長そでを着ろつて鬼の様な事を言うな?」と思った人がいるかもしれませんが、日焼けが「一番の天敵です」。「焼いてしまえばいい」と思うかもしれませんが、その日の夜から3~4日は、肌が炎症し、痛い熱は持つわで体感温度が2~4度上昇してしまい、周りの人より自分だけ暑く感じてしまいます。このようなことにならない様、日焼けしないように工夫しましょう。

如何でしょうか?今回は4つ紹介させて頂きましたが、ポイントとなるのは、水と自分の置かれている環境を工夫する事で、幾分かマシになります。皆さんも一度有効活用してみてください。

熱中症を防ぎつつ、電気代節約に協力してください。(中西)



朗報! 暑くなると蚊がいなくなる!



もう一つの夏の風物詩(?)「蚊」。好きな人はいないでしょう?もう夜に「ブーン」と耳元で飛はれたら、見つけるまで寝れない人もいるでしょう。しかし、今年の夏は、蚊が激減しているのです。

理由は「この酷暑」。蚊は、三十五度を超えると活動を停止するそうです。当分は「ブーン」の音には悩まされずに過ごせそうですね★
...まあ、その分暑いですけどね...